



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 近畿車輛株式会社

コード番号 7122

URL <https://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 富雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 宮本 悟

(TEL) 06-6746-5231

定時株主総会開催予定日 2026年6月25日

配当支払開始予定日

2026年6月9日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	37,100	22.6	△234	—	192	△43.3	1,570	180.2
2025年3月期	30,257	△29.9	232	△94.6	339	△93.2	560	△87.2

(注) 包括利益 2026年3月期 2,687百万円(84.7%) 2025年3月期 1,455百万円(△73.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	228.32	—	4.5	0.3	△0.6
2025年3月期	81.48	—	1.7	0.6	0.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	72,937	35,955	49.3	5,225.94
2025年3月期	58,835	33,611	57.1	4,885.16

(参考) 自己資本 2026年3月期 35,955百万円 2025年3月期 33,611百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	15,630	△558	△4,335	16,843
2025年3月期	△4,858	△576	△14	6,291

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	344	61.4	1.0
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	344	21.9	1.0
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		34.4	

## 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	53,000	42.9	100	—	100	△48.1	1,000	△36.3	145.34

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	6,908,359株	2025年3月期	6,908,359株
② 期末自己株式数	2026年3月期	28,242株	2025年3月期	27,998株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	6,880,240株	2025年3月期	6,880,560株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	29,895	39.1	747	△33.1	1,081	3.8	2,444	91.3
2025年3月期	21,496	△33.7	1,118	△74.0	1,041	△78.9	1,277	△70.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	355.24	—
2025年3月期	185.66	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	61,360	29,391	47.9	4,272.01
2025年3月期	46,812	26,470	56.5	3,847.19

(参考) 自己資本 2026年3月期 29,391百万円 2025年3月期 26,470百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	P. 3
(4) 今後の見通し .....	P. 3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	P. 3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	P. 8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 11
(表示方法の変更) .....	P. 11
(セグメント情報等) .....	P. 11
(1株当たり情報) .....	P. 15
(重要な後発事象) .....	P. 15
4. その他 .....	P. 16
生産、受注及び販売の状況 .....	P. 16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が続く一方、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響やアメリカの通商政策をめぐる動向に加え、中東情勢の混乱による景気下振れリスクが増大し、先行きに不透明感を増すうちに推移しました。こうした状況の中で、当連結会計年度の当社グループ（当社及び連結子会社）における業績は、売上高が371億円（前連結会計年度売上高302億5千7百万円）と前年同期と比べ68億4千2百万円の増収となりました。営業損失は2億3千4百万円（前連結会計年度営業利益2億3千2百万円）と前年同期と比べ4億6千7百万円の減益となりました。営業外収益は6億4千8百万円（前連結会計年度営業外収益4億2千8百万円）と前年同期と比べ2億1千9百万円の増加となり、営業外費用は2億2千万円（前連結会計年度営業外費用3億2千1百万円）と前年同期と比べ1億円の減少となりました。営業外収益から営業外費用を差し引いた純額は4億2千7百万円（前連結会計年度1億7百万円）となり、経常利益は1億9千2百万円（前連結会計年度経常利益3億3千9百万円）と前年同期と比べ1億4千7百万円の減益となりました。また、当連結会計年度は、資本効率の向上を目的とした政策保有株式縮減のため、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより9億6千1百万円を投資有価証券売却益として特別利益に計上しております。以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は15億7千万円（前連結会計年度親会社株主に帰属する当期純利益5億6千万円）と前年同期と比べ10億1千万円の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①鉄道車両関連事業

西日本旅客鉄道株式会社向電車及び近畿日本鉄道株式会社向電車等により、売上高は362億5千2百万円（前連結会計年度売上高294億4千万円）と前年同期と比べ68億1千1百万円の増収となりました。営業利益は2億7千6百万円（前連結会計年度営業利益7億4千5百万円）と前年同期と比べ4億6千8百万円の減益となりました。

#### ②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は8億4千7百万円（前連結会計年度売上高8億1千6百万円）となりました。営業利益は7億4千2百万円（前連結会計年度営業利益7億5百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の資産合計は、729億3千7百万円（前連結会計年度末588億3千5百万円）と141億2百万円の増加となりました。流動資産は主に現金及び預金の増加により、518億1千9百万円（前連結会計年度末396億8千7百万円）と121億3千2百万円の増加となりました。固定資産は、211億1千7百万円（前連結会計年度末191億4千8百万円）と19億6千9百万円の増加となりました。

#### (負債)

当連結会計年度末の負債合計は、369億8千2百万円（前連結会計年度末252億2千3百万円）と117億5千9百万円の増加となりました。流動負債は短期借入金が増加したものの、主に契約負債の増加により、328億4千6百万円（前連結会計年度末205億1千4百万円）と123億3千2百万円の増加となりました。固定負債は主に退職給付に係る負債が減少したことにより、41億3千6百万円（前連結会計年度末47億9百万円）と5億7千3百万円の減少となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、359億5千5百万円（前連結会計年度末336億1千1百万円）と23億4千3百万円の増加となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、168億4千3百万円（前連結会計年度末62億9千1百万円）と105億5千2百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が11億5千4百万円となりましたが、主に契約負債の増加により、156億3千万円の収入（前連結会計年度48億5千8百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出により、5億5千8百万円の支出（前連結会計年度5億7千6百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の返済による支出により、43億3千5百万円の支出（前連結会計年度1千4百万円の支出）となりました。

(4) 今後の見通し

短期的には中東情勢の緊迫化による物価や調達コストの上昇が懸念され、当社グループにおいても資源供給の混乱とそれに伴う原材料やエネルギー価格の高騰、人件費の急騰などによる製造原価の上昇に加え、工程に影響を及ぼすことも考えられますが、影響の規模と解消時期が不明なため現時点で明確な形では業績予想に織り込んでおりません。

一方、中期的には省エネルギー化、CO<sub>2</sub>削減などに向けた鉄道分野へのGX対応要請や、多様なニーズに対応するための旅客サービス向上を背景に、国内市場では鉄道事業者による車両新造の需要があり、また、海外市場では納入実績のある鉄道事業者で車両新造の計画が動き出しています。長期的には、国内市場では少子化に伴う鉄道利用者数の減少が予測されますが、鉄道は持続可能かつ必要不可欠な公共交通手段として重要な役割を果たすことが期待され、鉄道事業者では省人化に向けた開発と投資をすでに活発化させています。海外市場では人口動態等から継続した車両新造などの需要が見込まれます。

こうした状況にあって、当社グループでは、DXや製造設備改良によるものづくりの変革により生産性を高め、製造における再生可能エネルギー電力の使用などにより持続可能な企業活動を推進し、国内案件はもとより大型海外案件であるカイロ地下鉄向け電車やロサンゼルス郡都市交通局向け電車の最終組立工事などの受注済案件を着実に遂行してまいります。また、デザイン力や製造技術力を活かし、環境面も考慮した社会のニーズに応える最適仕様の車両を提案し、案件獲得と収益の確保に努めてまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の企業間との比較可能性を確保するため、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、我が国における会計基準の動向等を勘案し対応を検討してまいります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,350	16,904
受取手形、売掛金及び契約資産	8,019	7,736
仕掛品	19,637	24,172
原材料及び貯蔵品	585	565
前渡金	2,964	2,152
その他	2,130	288
流動資産合計	39,687	51,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,580	4,828
機械装置及び運搬具（純額）	1,691	2,333
土地	2,582	2,582
リース資産（純額）	1,465	1,377
使用権資産	210	1,012
建設仮勘定	1,716	822
その他（純額）	197	187
有形固定資産合計	12,443	13,143
無形固定資産	220	342
投資その他の資産		
投資有価証券	6,329	7,503
その他	157	132
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,483	7,631
固定資産合計	19,148	21,117
資産合計	58,835	72,937

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,830	5,976
短期借入金	3,900	—
リース債務	1,508	1,398
未払法人税等	6	392
契約負債	5,509	20,067
賞与引当金	389	402
製品保証引当金	155	188
受注損失引当金	1,017	1,402
その他	3,195	3,018
流動負債合計	20,514	32,846
固定負債		
リース債務	5	3
繰延税金負債	1,034	617
退職給付に係る負債	2,921	2,232
その他	747	1,283
固定負債合計	4,709	4,136
負債合計	25,223	36,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	19,876	21,103
自己株式	△106	△107
株主資本合計	28,146	29,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,002	2,824
為替換算調整勘定	3,643	3,168
退職給付に係る調整累計額	△181	588
その他の包括利益累計額合計	5,464	6,581
純資産合計	33,611	35,955
負債純資産合計	58,835	72,937

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	30,257	37,100
売上原価	26,267	33,459
売上総利益	3,989	3,641
販売費及び一般管理費	3,756	3,875
営業利益又は営業損失(△)	232	△234
営業外収益		
受取利息	187	164
受取配当金	154	174
為替差益	—	282
受取補償金	49	—
雑収入	37	26
営業外収益合計	428	648
営業外費用		
支払利息	72	59
為替差損	189	—
固定資産撤去費	37	109
支払補償費	—	26
雑支出	22	25
営業外費用合計	321	220
経常利益	339	192
特別利益		
投資有価証券売却益	358	961
特別利益合計	358	961
税金等調整前当期純利益	698	1,154
法人税、住民税及び事業税	133	377
法人税等調整額	4	△794
法人税等合計	138	△416
当期純利益	560	1,570
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	560	1,570

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	560	1,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△581	822
為替換算調整勘定	1,536	△475
退職給付に係る調整額	△60	769
その他の包括利益合計	894	1,117
包括利益	1,455	2,687
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,455	2,687
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,252	3,124	19,659	△106	27,930
当期変動額					
剰余金の配当			△344		△344
親会社株主に帰属する 当期純利益			560		560
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	216	△0	216
当期末残高	5,252	3,124	19,876	△106	28,146

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,583	2,107	△120	4,570	32,501
当期変動額					
剰余金の配当					△344
親会社株主に帰属する 当期純利益					560
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△581	1,536	△60	894	894
当期変動額合計	△581	1,536	△60	894	1,110
当期末残高	2,002	3,643	△181	5,464	33,611

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,252	3,124	19,876	△106	28,146
当期変動額					
剰余金の配当			△344		△344
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,570		1,570
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,226	△0	1,226
当期末残高	5,252	3,124	21,103	△107	29,373

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,002	3,643	△181	5,464	33,611
当期変動額					
剰余金の配当					△344
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,570
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	822	△475	769	1,117	1,117
当期変動額合計	822	△475	769	1,117	2,343
当期末残高	2,824	3,168	588	6,581	35,955

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	698	1,154
減価償却費	1,286	1,347
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13	79
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△119	33
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	63	392
受取利息及び受取配当金	△341	△339
支払利息	72	59
投資有価証券売却損益 (△は益)	△358	△961
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5	0
売上債権の増減額 (△は増加)	6,752	223
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,411	△4,537
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,555	1,802
契約負債の増減額 (△は減少)	△149	14,489
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△440	△283
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△1,149	1,149
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△720	299
その他	181	282
小計	△4,190	15,206
利息及び配当金の受取額	341	339
利息の支払額	△74	△59
法人税等の支払額	△934	△75
法人税等の還付額	—	219
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,858	15,630
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△63	△59
定期預金の払戻による収入	518	57
有形固定資産の取得による支出	△910	△1,679
有形固定資産の売却による収入	6	1
無形固定資産の取得による支出	△127	△152
投資有価証券の売却による収入	—	1,363
その他	—	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△576	△558
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,400	△3,900
長期借入金の返済による支出	△3,000	—
リース債務の返済による支出	△69	△92
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△344	△342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	△4,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	493	△184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,955	10,552
現金及び現金同等物の期首残高	11,246	6,291
現金及び現金同等物の期末残高	6,291	16,843

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「売上債権の増減額(△は増加)」に含めておりました「契約負債の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「売上債権の増減額(△は増加)」に表示していた6,603百万円は、「売上債権の増減額(△は増加)」6,752百万円、「契約負債の増減額(△は減少)」△149百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議及び取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、鉄道車両製造専門メーカーであり、JR向電車、公民鉄向各種電車、海外向電車、車両保守部品の製造及び販売について、戦略を立案し事業を展開しております。また、このほかに不動産賃貸事業を営んでおります。

従って、当社は「鉄道車両関連事業」及び「不動産賃貸事業」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2025年6月25日提出)の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄道車両 関連事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	29,440	—	29,440	—	29,440
その他の収益	—	816	816	—	816
外部顧客への売上高	29,440	816	30,257	—	30,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,440	816	30,257	—	30,257
セグメント利益	745	705	1,451	△1,218	232
セグメント資産	52,851	1,482	54,334	4,501	58,835
セグメント負債	14,000	564	14,565	10,657	25,223
その他の項目					
減価償却費	1,205	25	1,230	55	1,286
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,003	—	2,003	38	2,042

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,218百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用であり、当社の管理部門に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額4,501百万円は、当社の余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) セグメント負債の調整額10,657百万円は、当社の管理部門に係る負債であります。
  - (4) 減価償却費の調整額55百万円は、当社の管理部門に係る減価償却費であります。
  - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額38百万円は、当社の管理部門に係る設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄道車両 関連事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	36,252	—	36,252	—	36,252
その他の収益	—	847	847	—	847
外部顧客への売上高	36,252	847	37,100	—	37,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,252	847	37,100	—	37,100
セグメント利益又は セグメント損失(△)	276	742	1,018	△1,253	△234
セグメント資産	57,366	1,467	58,833	14,103	72,937
セグメント負債	30,403	568	30,972	6,010	36,982
その他の項目					
減価償却費	1,267	24	1,291	55	1,347
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,343	4	1,347	56	1,404

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,253百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用であり、当社の管理部門に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額14,103百万円は、当社の余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) セグメント負債の調整額6,010百万円は、当社の管理部門に係る負債であります。
  - (4) 減価償却費の調整額55百万円は、当社の管理部門に係る減価償却費であります。
  - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額56百万円は、当社の管理部門に係る設備投資額であります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
20,163	8,913	1,180	30,257

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

その他……中華人民共和国(香港)、エジプト・アラブ共和国、カタール国、アラブ首長国連邦、台湾、フィリピン共和国

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	合計
10,279	2,164	12,443

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
27,230	7,459	2,410	37,100

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

その他……アラブ首長国連邦、中華人民共和国(香港)、フィリピン共和国、カタール国、エジプト・アラブ共和国

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	合計
10,362	2,780	13,143

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	4,885円16銭	5,225円94銭
1株当たり当期純利益	81円48銭	228円32銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	560	1,570
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	560	1,570
普通株式の期中平均株式数(株)	6,880,560	6,880,240

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 生産、受注及び販売の状況

###### ①生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
鉄道車両関連事業	37,466	111.1
合計	37,466	111.1

###### ②受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
鉄道車両関連事業	31,537	155.5	113,226	96.0
合計	31,537	155.5	113,226	96.0

###### ③販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
鉄道車両関連事業	36,252	123.1
不動産賃貸事業	847	103.9
合計	37,100	122.6

以 上